

同窓会だより

リ・ユニオン関係	2. 3頁
喜寿・古希・還暦	4. 5頁
大越中高長就任の挨拶、幼稚園運動会	6頁
小川留三先生追悼記事	7頁
オビリンターの輪	8頁
支部長会報告	9頁
東北同窓会、研究会	10頁
ひろば	11頁
中高・大学祭、ホームカミングデー	13頁
清水安三先生の説教	14.15頁
伊豆高原クラブ、編集後記	16頁

発行／桜美林学園同窓会 〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
 発行日／平成25年12月1日 電話 (042) 797-1632
<http://www.obirin.jp/alumni/> E-mail: alumni@obirin.ac.jp
 (印刷 (株)サン・メールサービス) 振替 00120-5-41288

2013 同窓会総会 & リ・ユニオン報告



再会の喜び

- 1 全体写真
- 2 馬頭琴演奏
- 3 佐藤紀子さんとモンゴルの留学生
- 4 モンゴルの民謡を歌うモンゴル留学生
- 5 スタッフ一同(幹事と学生)
- 6 稲垣貴子さんソプラノ独唱
- 7 懇親会の料理
- 8 大越孝中高校長挨拶
- 9 三谷高康学長挨拶
- 10 懇親会司会は学生
- 11 学園歌

総会&リ・ユニオン報告と2014年に向けて

同窓会会長 時田 宝文

桜美林学園同窓会も無事に2014年を迎えようとしています。これもひとえに会員の皆様のお力添えによることと心より感謝いたしております。

桜美林学園は佐藤東洋士総長のもとに学園創立100周年に向け、さらなる発展を目指しています。同窓会も創立100周年に向けて「同窓生の為に、学園の為に、在校生の為に」をモットーに、努力を続けて参ります。

今年度は、1921年に崇貞学園が創立されてから92周年を迎えています。同窓生として、自分の身の回りの人々に桜美林学園の良さを語り広げていき、地域との連携を深めることを、100周年の目標にしたいと考えております。

同窓会は、4月の喜寿・古希・還暦祝でそれぞれの年代の方に喜んでいただき、6月のリ・ユニオンでは日本とモンゴルの文化交流に多大な貢献をされている卒業生の佐藤紀子さんにモンゴルとの交流について講演をしていただきました。また7月は郡山にて東北支部会を開催し、東北各地から参集いただきました。9月の中・高文化祭や11月の大学祭での行事協力、第二回全国支部長会議の開催と、具体的に活動してまいりました。同窓会の各地区の支部会にも参加し、各地の状況を伺いました。様々なご意見をいただいで今後の活動に生かしてまいりたいと思います。

学園と同窓生の皆様のご発展・ご活躍をお祈りいたしますとともに、今後とも同窓会活動にご支援・ご協力をお願い申し上げます。

2013年 リ・ユニオン

行事企画委員会

藤本 順子 (78大英)

今年のリ・ユニオンは、6月1日(土)に町田キャンパス太平館レクチャーホールにて、盛りだくさんの内容で開催されました。まず、午前10時15分より同窓会総会を行いました。ここでは2012年度事業報告、会計報告及び2013年度事業計画、予算が報告されました。つづいて、お母様が高校の卒業生だということでお出演してくださった二期会の稲垣貴子さんによるソプラノ独唱で素晴らしい歌声を堪能し、モンゴルの民族衣装を身に纏ったモンゴルの留学生たちによる歌と馬頭琴の演奏、また、大学生がモンゴルに風車を贈る活動をしているAsia Windingからの活動報告がありました。会場がモンゴル一色に染まった後、長らく在大阪モンゴル国名誉領事として活動されてきた、短大卒業生の佐藤紀子さんによる「桜美林とモンゴル」の講演会が始まりました。15年前にモンゴルで学校を作った時の生徒が、先ほど歌を歌った留学生の中にいたという感動的な再会があり、素晴らしい偶然に紀子さんが感激していらっしやいました。その後の懇親会は、会場を学生ラウンジに移し、引き続きデビューが

決まった卒業生の歌に引き込まれ、楽しい会になりました。是非来年もまたご参加ください。お待ちしております。



I 2012年度収支決算報告

(2013年3月31日)

1. 収入の部

単位:円

科目	予算	決算	増減
2012年度卒業生会費収入中・高校	2,152,000	2,128,000	24,000
2012年度卒業生会費収入大学	20,770,000	20,020,000	750,000
2012年度卒業生会費収入大学院	2,180,000	1,250,000	930,000
特別会費収入	250,000	195,000	55,000
利息収入	100,000	120,581	△20,581
誌代収入	150,000	180,340	△30,340
雑収入	20,000	28,212	△8,212
行展会費収入	600,000	492,000	108,000
当年度収入合計	26,222,000	24,414,133	1,807,867
前年度繰越金	7,332,759	7,332,759	0
合計	33,554,759	31,746,892	1,807,867

2. 支出の部

科目	予算	決算	増減
印刷費支出	6,200,000	6,056,397	143,603
発送費支出	6,500,000	6,472,231	27,769
広報取材費支出	200,000	10,290	189,710
行事費支出	1,660,000	1,242,558	417,442
支部活動費支出	880,000	741,010	138,990
級会補助費支出	400,000	320,960	79,040
記念品費支出	1,500,000	1,421,753	78,247
特別委員会支出	200,000	59,800	140,200
会議費支出	200,000	314,016	△114,016
事務用品費支出	200,000	111,588	88,412
通信費支出	250,000	228,408	21,592
旅費交通費支出	800,000	676,960	123,040
備品費支出	100,000	256,200	△156,200
人件費支出	3,250,000	3,578,141	△328,141
雑費支出	100,000	111,831	△11,831
予備費支出	2,114,759	1,251,567	863,192
同窓会館建設積立金	5,000,000	5,000,000	0
財政調整基金	4,000,000	2,000,000	2,000,000
当年度支出合計	33,554,759	29,853,710	3,701,049
次年度繰越金	0	1,893,182	△1,893,182
合計	33,554,759	31,746,892	1,807,867

II 同窓会館建設積立金

科目	予算	決算	増減
同窓会一般会計より繰り入れ	5,000,000	5,000,000	0
前年度繰越金	100,000,000	100,000,000	0
合計	105,000,000	105,000,000	0

III 財政調整基金

科目	予算	決算	増減
同窓会一般会計より繰り入れ	4,000,000	2,000,000	2,000,000
前年度繰越金	25,000,000	25,000,000	0
合計	29,000,000	27,000,000	2,000,000

2013年4月10日 監査の結果以上の通り相違ないことを認めます。

会計監査

錦織達也
北井京

2013年度事業計画

- 「喜寿・古希・還暦祝い礼拝」を開催
4月27日(土)礼拝及び茶話会
礼拝・荊冠堂チャペル
茶話会・フアカルティエ
- 「総会及びリ・ユニオン」
6月1日(土)
太平館レクチャーホールにて
総会
ソプラノ独唱
馬頭琴演奏
佐藤紀子氏の講演会
- 親会
太平館学生ラウンジにて懇
- 9月21日(土)、22日(日)中高文化祭に参加
- 11月2日(土)同窓会事務局前にて緑茶無料サービス
- 全国支部長会議 11月2日(土)多摩アカデミーヒルズにて開催
- 2014年1月13日(祝)「成人祝い礼拝」にて茶話会開催予定
- 支部設立の拡大及び支部継続の支部支援活動
- 機関紙『同窓会だより』第189号、第190号の発行(年2回) 4月・12月発行予定
- 特別会費の納入のお願い(対象:1982年、1992年、2002年度卒業生)
- 新卒業生、並びに修了生への記念品贈呈(証書入、又はボールペン)
- 書籍、「復活の丘」復刻版、その他グッズの販売
- 会員住所の整理及び管理
- その他同窓会の目的達成のための事業

2013同窓会総会&リ・ユニオンに出席して

バルク 良子(57短英)



私は57短英のバルク(志賀)良子です。卒業式に火事が発生し座っていた長椅子を持って外へ逃がしました。

にわとり小屋の校舎で宣教師シスターエルダーの“God is good!”神はずばらし“God loves you!”神は愛なり、この言葉を決して忘れていません。

清水安三・郁子両先生の教育を直接賜り「神と共に」の信仰を与えられ、アメリカ留学5年を終え、現在兵庫県芦屋市陽光町にアシヤインターナショナルスクールの園長として、幼児教育50年の月日が過ぎました。

安三先生が「良子さんはアメリカ人と結婚するね!」と、卒業間際に予言された如くその通り人生を50年送ってきました。

63の7月帰国し、神戸カナディアンアカデミー英語主事バルク・ビリー氏と結婚し、私も幼児科の先生を一年務めました。

24歳、58年三井OSKアフリカ丸でブラジル行き400人の移民の方々々と11人の米国留学生として乗船し11人での船内学校や、5年間の留学生生活は、桜美林のスピリット安三先生の「神と共に生きよ」とした人生のおかげです。淵野辺から復活の丘めがけて桑の畑を自転車で行き、スクールと仕事をおかげ様で歩む事が出来ました。感謝します!

エルダー姉のコーラスのおかげで5年間の留学費用全額は奨学金スカラシップをいただき、アメリカ全州を演奏旅行しました。またテキサス州ウエーランド大学から14人が選ばれ60にアジア八ヶ国プロジェクトアンダースタンディングクワイアートワーで、タイの国王パレスに入り2時間のコンサートをロイヤルファミリーに接待されこれもあり、主に感謝いたしました。

ただ一人の東洋人であった私のテーブルに交流会の時に歩み寄りながら「ハワイから?」とお聞きになり、クイーンと5分余り個人的なお話が出来たことを一生忘れません。

アヤベの「おしん」といわれ8人兄弟の6番目の次女として生まれた私は、家族の為に米に代えられる時、宣教師にキリスト信仰を教えられ16歳の時より岩手県に伝道する二人の婦人宣教師と共に四年間同居し信仰を学びました。55桜美林に入学した事は安三・郁子先生のクリスチャン教育のおかげと心から感謝致します。

二〇一三 リ・ユニオン

堀井 和衷(48中学)

久し振りの桜美林である。急いでバスを降りると、中・高校体育祭の真っ最中です。その歓声を聞きながら太平館へと急ぎました。何と受付は一番でした。レクチャーホールに入ると、まず、十字架の下にイエスを信じて神に祈れば必ず報いて下さる、との信念の人清水安三先生、教えつつ学びつつキリスト教学校、女子教育の一人者清水郁子先生の大きなパネル写真が飾ってありました。厳粛な中、小林茂牧師による礼拝で始まり、同窓会総会は何の問題もなく議事は無事終了致しました。今回のリ・ユニオンの大きなテーマは『桜美林とモンゴル』の係わり合いです。この度、佐藤東洋士総長が在相模原モンゴル総領事となられました。まず、留学生諸氏による馬

頭琴の演奏や日・モンゴル語による歌の発表があり、多数のモンゴル人が留学し又帰国して活躍しておられる事に感銘を受けました。又、大学生によるモンゴルに風車をとというプロジェクトも進んでいる様でスライドによる説明や現地に行った時の様子などを話されました。最後に昨年まで十五周年に渡り大阪モンゴル国名誉領事を務められ、現在日本モンゴル文化経済交流会会長の佐藤紀子氏による講演会がもたれ、モンゴルの国情や経済、日本との交流、朝青龍や白鵬との親交についても話され満場の喝采の内に閉会となりました。会場を移しての懇親会となり各挨拶の後、乾杯、歓談となりました。

ですが同窓生九万五千余人の割には出席者が少なく思え残念でなりません。卒業生が母校の生い立ち、理念を信じて愛してこそ、その修めた学業を社会で生かしていけるのではないのでしょうか。そして、それが今後少子化と共に大変になる学園の名声を高め母校のますますの発展に寄与して行くものと信じ多数の卒業生の参加こそが、同窓会の使命であり学園の基礎となるのではないと思いました。余興に出られた飛鳥とも美さんの歌詩ではありませんが「いろいろあれこれあったけど」矢張り私は桜美林が大好きです。最後に全員輪になって学園歌を斉唱した。来年も楽し

桜美林大学「駅伝チーム」結成します!

● 歴史を作る1期生を募集しております。 ●



スタッフ

部長・監督：武田 一
駅伝監督：真也加 ステファン(旧姓:ステファン・マヤカ)

喜寿・古希・還暦祝い
礼拝に出席して

田中 嗣夫 (54高校)

今年喜寿(77)に該当、はがきで案内があった。久しく学園に行っていない。有り難いお誘いだ。今回の参加者100名以上、還暦、古希の人が多く、喜寿は3名だ。意外に思ったが、自分の周囲を見てもこの年齢になると体調や介護などの問題があるように思う。本人の事情もさることながら親や配偶者の介護などを重ねることに急激に増え、出歩き難くなるよう

だ。私は昭和29年に高校を卒業、5年間教室の2階にあった寮ですごした。一部屋に5-6人、学年はバラバラ。私は清水安三先生の前半生「東支那海を越えて」の著者小林茂さんとも、7歳の年齢差にも拘らず、同室だったことがある。当時は校舎も木造バラック、火災保険は無く、ドラム缶防火用水が置いてあった。火の用心は厳重、正に今昔の感だ。今回礼拝の行われた「荊冠堂」の周辺は「復活の丘」と呼ばれた芋畑だった。

ス、便利になつていた。もう桜美林は忠生村、町田の域に留まっていけないから当然だと思いが、私にはこんな事も驚きだった。

記念礼拝、パイプオルガンがあった。厳かな音がる。パツハの曲が素晴らしかった。礼拝後席を移しての茶話会が楽しかった。運営を下さつた同窓会世話役の方々のおかげ、感謝。席はグループ別、喜寿は3人だったが小林茂さんが同席、いろいろと興味深い話が聞けた。有意義な一日だった。

妹尾 理 (63短英)

爽やかな五月の風に身を任せながら、かつての教え子の車に便乗してオピリン学園に向かう。何十年振りに飛び込んで来る眼前の校舎は、昔の面影はどこにもない。しかし、この地で友と共に過ごした日々が昨日のように鮮やかに蘇ってくる。

ふとグラウンドに眼をやると、大きな車道から延びるぬかるんだ横道を、華やいた笑顔と若々しい会話を交わす友の姿が思い出と共に儼に浮かび、目頭が熱くなった。こ、はあの桜の園なんだ。青春を燃やした大地なのだ



と……。(青春時代の夢なんて後からほのぼの思うもの)と口ずさんでいた。チャペルの玄関前にいると、向こうから小走りに来る女性たちが叫んだ。「セノウ君」その声に青春が弾き始める。皆子供

を心ゆくまで楽しんだ。「人生は人との出会いであり、またどんな人と出会うのかそれによつて総てが決まる。」本の一節の記憶が蘇ってくる。なつかしい顔が何人いるかは人によつて異なるが、良き友との出会い

と云う宝を持った瞬間こそ、何物にもかえがたい歓喜がわいてくるのです。人間は相手を見捨てないでこそ愛していると云う実感わいてきます。この桜の園で愛を育まれ、出会った人々と手をつなぎ「オピリン学園歌」を歌いながら、生きるエネルギーをもらい明日への希望としたいです。

安三、郁子両先生が創立された桜の園で、楽しい日々を過ごし、いつのまにか学園での出会いが私の人生のすばらしい心の古里となつていくことに気づかせてくれた一時でありました。

健康であればこそ皆様方に会うことが出来たと思ひます。これからも元気に過ごし再会したいものです。さあ、オピリンで花を咲かせた皆様方「かかとを上げて」前進しましょう。沸き立つ喜びは、心の

叫びとなつて五月の青空へと溶け込んでいった。オピリンチャペルに来て、古希を祝っていただき本当にありがとうございました。See you again! オピリンの皆様方すこやかであれ、健康であれ、ありがとう。バイバイ!

白石 由子 (73短英)

突然のユキ(角田さん)からの誘いの電話で始まった今回の還暦礼拝への出席でした。アッコ(石塚さん)ヒメ(浅井さん)ともすぐに話がまとまりました。学校で待ち合わせし、不安と期待の気持ちを胸に当日を迎えました。

「私の事すぐにわかるかしら?」そんな気持ちも杞憂に終わり、会った瞬間お互い「アッコ」「ユキ」「ヒメ」「ユウ」と呼び、皺は四十本増えましたが、心は学生時代のまま。三十五年、タイムスリップしたかの様でした。私達の学んだ校舎はなくなり、あまりの変わり様にびっくりしましたが、四十二年前に私達を逢わせてくれた桜美林。そして、三十五年後に再会させてくれ、楽しい時を与えてくれた桜美林に、感謝します。又、元気で会える日を楽しみにしています。

のようには抱き合っている。五十年の時の流れが一気に盛り上がる。チャペルのなかでも懐かしい顔が並び会話が弾むうちに、柴牧師(かつて同僚だった先生)の礼拝とお話が始まり、私はこの幸せな時

再会の喜び

渡辺 郁子 (63短英)

さわやかに晴れ渡った四月二十七日、「喜寿・古希・還暦を祝う会」が、桜美林学園同窓会主催により開催された。

百名を超える同窓生は、思い思いに復活の丘や学園内の散策を楽しみ、写真撮影を終えると、新装なったチャペルで記念礼拝に臨んだ。柴牧師の「喜び、感謝の人生」の説教に熱心に耳を傾け、人生の区切りの時を迎えるに当たって、思いを新たにこれからの人生を、其々に思うのであった。

続いて、「淵野辺DANKER」によるハーモニカ演奏が行われ、私達はすっかり在りし日のオペリンナーの気分……。

第二部は、ファカルティクラブで、心なごむ茶話会が開催された。お弁当もおいしくいただき、食後のお菓子も美味、飲み物もお茶も十分に頂戴し、お腹も心も幸せいっぱいの内懐かしい校歌斉唱。なつかしい！

後ろ髪を引かれる思いで、会場を後にしたのであるが、私達「古希」組十五名には、お楽しみが待っていた。

伊豆の桜美林クラブ一泊が、幹事さんにより計画されていた。遠くハワイや、九州をはじめとする日本各地から集まった元オベ

リンナー達は、五十年と言う時の過ぎゆきをすっかり忘れて、一晩中話に花を咲かせたのである。

目ざめれば、目の前に壮大な大室山が。見下ろせば伊豆高原のペニンシオンが広がり、その向こうに相模灘―絶景に息をのみつつ、海の幸溢れる朝食を感謝して戴くことが出来た。

名残つきぬ別れのと、夫々のコースに分かれて私と別府の荒木さんは城ヶ崎海岸へ行き、伊豆の海辺を楽しみ、その夜は、荒木さんは沼津の私の家に一泊。翌日、沼津の若山牧水や芹沢光治良記念館、沼津御用邸を訪ねて、一路九州へと。

この様な、「古希の祝」を主催して下さった桜美林学園同窓会に、心から感謝申し上げます。



「1971年度高校卒業生 還暦同窓会開催」

71 Cherry会々々 西依敏治

幹事長 川崎秀憲

幹事 江渡 恵

同窓生のみなさん、還暦おめでとう！去る4月27日に桜美林学園で還暦祝礼拝が開催され、午後から町田で還

暦同窓会を開催いたしました。卒業生385名の内同窓生99名、稲持教昭先生、近藤幸先生、坂本(神志名)邦子先生、山田(江上)太枝先生に出席をいただき、還暦と再会を祝う至福の間を過ごす節目の大同窓会となりました。故人となられた12名の同窓生、先生方に黙とうを捧げて、昔の授業を彷彿とさせる先生方のスピーチ、出席者同士の歓談が1次会3時間、2次会2時間と続きました。卒業以来41年



振りの初参加者、遠くはアメリカ、北海道、岡山県、長崎県からも参加いただき大盛況となりました。

感激の内に最後にクラス別写真集合写真を撮って次回同窓会での再会を確認すると同時に今回、学年同窓会を71 Cherry会として発足させ今後の同窓会活動を活発に行うことになりました。残念ながら今回

欠席の方80名、お返事のなかった方87名、住所が不明の方107名の方々も合わせて次回200名を超える還暦同窓会パートIIを企画する案も出ています。還暦を記念して作成した今回の写真DVD、音

楽CDも配付したので還暦の想いの1ページを飾る事ができたとおもいます。「思っていたより若い、まだまだこれから」の思いを胸に頑張って生きましよう!!

桜風会創立10周年を祝う会に参加して

残暑の残る8月25日、町田のホテル ザ・エルシイ町田にて「桜風会創立10周年を祝う会」が開催されました。桜風会では中・高の卒業生やその保護者が卒業後も桜美林中・高校の応援団として、活動する会です。

10周年を迎えて、今回は桜美林中・高校の現役の先生方や現PTA役員、後援会役員、同窓会役員も参加しました。桜風会では中・高へ記念品として「時計」を贈呈しました。また、甲子園で優勝した時に主将として活躍した片桐先生に、当時の思い出や、監督時代の苦労話をしていただきました。また、2002年の甲子園出場当時の野球部から花房君、五十嵐君が参加し、再び甲子園に出たいという希望も語ってくれました。野球部だけでなく、中・高生の活躍を願って、桜風会会員は



もちろん、他の参加者も気持ちを一つにして閉会となりました。

小川留三先生を偲んで



第5代中学校長就任時代 (昭和45年4月)

小椋 郊一 (54中・57高)

去る六月二三日、学園歌の作曲者として知られる小川留三先生が天に召された。九三年の生涯であった。先生は昭和二四年に創立間もない桜美林学園に英語教師として招聘され、昭和六二年三月に中学校長として定年退職されるまで学園のために誠心誠意奉職された。

私が生徒であった頃には先生は高校のグラマラーの授業を担当しておられたが、英語の先生というよりは聖歌隊の指揮者としての印象の方が強く残っている。私が中学校の数学教員として勤めだした頃には、先生は高校の教頭をしておられたが、間もなく中学校長であつた宗像完先生が学園を去られるとその後第五代中学校長として我々の前に立った。

先生は非常にまじめな方で、よ

く「小事に忠実な者は大事にも忠実である」(ルカ一六一〇)という聖書の言葉を生徒に語っていたが、先生の生き方はまさにその言葉を実践するものであった。校長としての事務処理などは丁寧に、忠実にされて、我々にもどんな仕事にも手を抜かないよう指導されていた。当時は毎週校内理事会が開かれていたが、どうしても長引くので他の先生方は欠席したり途中退席するのに、小川先生だけは必ず出席されていたという。

先生はまたオルガンの名手でもあったので、学園の特別行事・礼拝の際は当時チャペルに備えられていたハモンドオルガンを弾いておられたが、その音色は音楽には疎い我々の心にも響く演奏をされた。そんな音楽の能力を見込まれて、安三先生は小川先生に新しい学園歌の作曲を依頼されたものと思う。

学園の歴史を作つてこられた方をまた一人失つたわけだが、桜美林学園が存続する限り学園歌は歌い継がれ、小川留三先生の名はその作曲者としていつまでも記憶されるものと思う。

清水安三記念館開設と清水安三先生顕彰会の設立

滋賀県支部長

岡本 三四一 (77大商)

桜満開の今年4月13日、佐藤理事長はじめ多くの学園関係者に安三先生の生誕地である高島に集っていただくことができました。この日記念すべき2つの事業に参加していただくためです。ひとつは、「清水安三記念館」の開設式典と、あとひとつは、「清水安三先生顕彰会」の発足イベントです。

新しく生まれ変わった「清水安三記念館」は、安三先生の生家のすぐ隣。ヴォーリス建築設計事務所によって建てられた当時としては周囲に似合わないがしりとしたコンクリート造りの洋館で、開業医の方が使用していました。その後閉鎖していましたが、この度桜美林学園が購入し、再びヴォーリス建築設計事務所によってリフォームされた建物です。安三先生の生家の隣にヴォーリス建築があつたことにも驚かされましたが、時代がめぐつてまた安三先生のゆかりの地に記念館ができたことに、偶然ではない何かの導きがあつたとしか感ぜずにはいられません。「お帰りなさい。せんせい……」そんな感じがしてなりません。この記念館には先生が愛された多くの蔵書や遺品が今後展示

されていく予定ですが、市民の方々に気軽に足を運んでいただき、先生の生涯や功績についてお伝えしていただくことができれば、市民の方々にとっても郷土の誇りとして、また若い人たちへの道標として貴重な体験をしていただける施設となることを願っています。

また、もうひとつの事業、「清水安三先生顕彰会」がこの日発足しました。平成14年2月、町主催による「北京市朝陽門外を訪ねる名譽町民・清水安三先生顕彰の旅」が開催されたのをきっかけに、戦前清水安三先生が活躍された北京市内のゆかりの地を訪ねた旅は数回続きました。この旅の参加者で市内に住む方々が中心となり、昨年清水安三先生顕彰会設立準備会が組織され、顕彰会の設立を呼びかけました。結果、顕彰会の趣旨に賛同した人たちは、市内以外や県外からの参加者もあり50名を超える組織となり、この日を迎えました。式典では用意した椅子が足りなくなるほど会場いっぱいの人たちにお集まりいただき、記念講演として小林先生(51高)をお迎えし、「東支那海を越えて清水安三先生の前半生」というタイトルで講演をしていただきました。講演を聴いた人たちは、誰もが小林先生のご講演に対し、また安三先生の生涯にわたる教育者と

しての功績に対し改めて拍手をおくるとともに、感慨深い幸せな時間をおくることができた喜びでいっぱいでした。

今後顕彰会では、清水安三先生顕彰に係るイベントの企画や製作、清水安三記念館が実施する事業への協力、桜美林学園との交流事業などを目的に活動を行っていくとのこと。どなたでも参加できるということですので、OB・OGの方で、興味ある方はどうぞ入会をしてみたいかがでしょうか? 詳細はHP (<http://yasuzo-s.com>) に記載されていますのでそちらをご参照下さい。

顕彰会設立記念講演



記念館除幕式

♪ 広げようオビリンナーの輪 ♪

第3回 愛媛リ・ユニオン 2013.9.16



愛媛リ・ユニオンへの参加は今回で3回目になるが、毎回アットホームな雰囲気の中、いろいろな年代の方々の興味深いお話や桜美林の近況などが聞けてとても楽しい。人それぞれの桜美林への熱い思いにいつも感心させられる。今回は、四国の他県からの参加者もあり、とても刺激を受けることができた。これからも桜美林の発展と共に、愛媛リ・ユニオンが、四国の各県から一人でも多くの同窓生が気軽に参加できる機会になることを願っている。そして、新しい出会いや再会を楽しみにしている。

山口万壽夫 (89 大英卒)

愛媛リ・ユニオンは台風の影響で開催できるか危ぶまれましたが、当日は秋晴れに恵まれ会が開かれました。案内発送から1カ月近くの時点で参加者2名の為、呼びかけ拡大方針に切替え、四国4県・広島の一部に案内を発送しました。当日は香川・高知・愛媛で8名の方が参加され、和やかな雰囲気でおしゃべりがはずみました。自己紹介の時に自分の卒業年をはっきり覚えていない方もおられて、桜美林の歴史を感じました。大学時代のサークル活動の良き思い出、もっと真剣に勉学に励むべきだった反省の弁、桜寮では豚を飼われていた、桜寮近くの神社の話、復活の丘教会で礼拝を守った等々、皆さんの心はタイムスリップの世界に舞い込み、青春プレイバックの楽しいひとときを過ごしました。

愛媛を始め四国地区のリ・ユニオンの今後の在り方についても話し合いが持たれ、アンケート調査することになりました。往復葉書がお宅に届きましたら、ご協力をよろしくお願致します。

支部長 松田ちから (77 大商卒)

第3回 多摩・稲城リ・ユニオン

2013年5月25日(土)、多摩・稲城リ・ユニオンを多摩アカデミーヒルズで開催致しました。第3回目となる今回は、二部仕立てでの開催。第一部はテレビでもご活躍の健康福祉学群教授の阿久根英昭先生にお越しいただき「足下から健康を考える」と題して講義をいただきました。第二部は懇親会。学園からご出席いただいた三谷学長、大越中・高校長より現在の学園の様子をお伺いすると共に、参加者の近況報告、また支部幹事によるマジックなどもあり、美味しい料理を囲みながら終始和やかな楽しい会となりました。



第6回 横浜リ・ユニオン

2013年9月7日(土)、第6回横浜リ・ユニオンをホテル キャメロットジャパンで開催致しました。

今回も40名以上の同窓生にご参加をいただき、幅広い世代の輪が広がる活気ある会となりました。千葉支部からのご参加もいただき、支部同士の交流も盛んです。

横浜支部はますます元気に活動を続けていきたいと思えます。同窓生の皆さん、来年はぜひ足をお運び下さい!



町田・相模原支部合同交歓会

2013年7月20日(土)、第5回 町田・相模原支部合同交歓会をホテル ザ・エルシィ町田で開催致しました。今回は6年ぶりの開催で、学園からは佐藤理事長、小池副学長、大越中・高校長、そして高校の伊藤先生にご出席いただき、全体では約60名での賑やかな会となりました。

第一部は、佐藤理事長による講演。「桜美林学園の今」と題し、桜美林学園初期の非常に懐かしいスライドを用いての興味深いお話をいただきました。

第二部の懇親会では、世代を越えて和やかな時間を過ごし、新・旧校歌を斉唱する中でオピリンナーの絆をさらに深める会となりました。



千葉・群馬合同懇親会

支部発足11年を迎えた千葉県と群馬県の合同懇親会を2013年5月18日(土)東京両国で開催致しました。かねてより情報交換の場を持ちたいとの思いが実現できとても有意義で楽しい時間を過ごすことができました。今後の支部会の活動に役立てていきたいと思ひます。

群馬県支部 支部長 川島淳子(76短家)



第12回 千葉リ・ユニオン ご案内

日時：2014年2月15日(土) 17:00～

会場：ホテル ニューオータニ幕張

会費：7,000円

皆さまのご参加をおまちしております！

第5回 大阪リ・ユニオン ご案内

日時：2014年2月16日(日) 11:00～

会場：大阪クリスチャンセンター

初めてご参加、おひとりでのご参加大歓迎です！
ぜひ一度お越し下さい

※詳細は同窓会ホームページをご覧ください！

本誌に載せられなかった写真がたくさんあります。先生方やお友達の顔をさがして、お楽しみ下さい。



懇親会には、桜美林中学・高等学校長大越孝先生始め学園関係者のご出席をいただき、同窓会幹事とともに一同に会しました。
開会に先立ち小林茂先生(51高)から「八重の桜と安三先生」という題でご講話いただき、大河ドラ

全国支部長会議

11月2日(土)多摩アカデミー

ヒルズにて「同窓生のため、学園のため、在校生のため」の同窓会理念に基づき第二回全国支部長会議が開催されました。北は北海道から南は沖縄まで13支部18名の支部役員の皆様にお集まりいただきました。同窓会支部に関する基本理念、同窓会支部の運営に関する考え方、支部運営状況(支部リ・ユニオン参加者強化)、支部間の交流(近隣支部との交流)、本部からのバックアップなど同窓会本部や学園に臨むことなど内容は多岐にわたり、長時間の慎重審議となりました。

全国支部長会議懇親会

桜美林学園同窓会
第2回 2013.11.2



マで放映中の同志社の卒業生と安三先生との生き生きとした交友録を、聞かせていただきました。

今回の会議で各支部からたくさんのご意見をいただけたことは、本部同窓会としての活動にも大きく参考になり、有意義な会議であったと思います。遠方より出席いただいた支部役員の皆様、ありがとうございました。

東北ブロック同窓会

副会長 佐藤 誠一郎(70高校)

2011年3月11日東日本大震災が発生しました。

津波のすさまじい映像が目に見え込んできました。

そして、福島第一原発の事故が続く、この先、日本はどうなってしまうのかと思われた方々は、少なくないはずで。

同窓生の安否は、又春休みを間近に帰省している在校生は。

同窓会本部は何をどのように支援すれば良いのか、すぐに会議がもたれました。東北6県と茨城、千葉を加えた同窓生の在住者は5,000名を数えます。そして、東北6県の600名の在校生はどうしているのか。震災にあわれた学生への募金を目的として設営された学園の基金に、まず150万円を寄付させていただきました。

そして、継続していろいろな角度から支援していく事が決議されました。昨年の夏には暑中見舞いを、年末にクリスマスカードを、対象8県の同窓生に送らせていただきました。

返信の中には仮設住宅よりお出しいただいたものがあり、大変胸を打たれ、また、復興の道のりの長さを感じました。

そこで、本年度は東北地域へ赴き、東北ブロック同窓会の開催を、

在住者の多い福島県を会場とし、ご案内を致しました。

7月7日昼の12時より福島県郡山市の「郡山ビューホテル」にて、開催されました。

福島県、宮城県、岩手県、山形県より18名の方々の出席をいただきました。

又、当日は大学の後援会(父母会)の福島県の保護者懇談会もホテルにて開催しており、大学より副学長の小池先生、又、渉外事業部長の幸野氏にご参加いただきました。お二人とも同窓生であり、小池先生には、ご自身の学生時代と現在の比較を交えての、学校の変遷をお話いただきました。

又、幸野部長からは硬式野球部の活躍や、陸上部に新たに箱根駅伝を目指して山梨学院大学で活躍された真也加ステファン氏を迎え、準備を始めたことの報告と、足の速い生徒を同窓会が紹介して欲しいとの協力が出されました。

そして、同窓会より、現在の本部の役割並びに今回の開催にあつての主旨説明を行いました。以前は学内での県人会活動が盛んに行われていて福島県人会で活躍されていた佐久間光一(1969大英)さんに幹杯の音頭をいただき懇親会はスタートしました。

現在の学園や学生の様子映像、又懐かしの学園の風景をパワーポイントで流している間、昔

の話に会場は包まれていきました。

同じクラブでの先輩、後輩にあたるグループの人、下宿先での思い出、お世話になった恩師の思い出、又、結婚して東北に移った人、仕事の延長で移った人、偶然にも会場で45年振りの再会をした同級生3名など、一人一人よりお話をいただき、同窓生同士の距離が急接近を致しました。

そして、最後に記念の集合写真を撮り、皆で腕を組んで学園歌を歌い解散となりました。

「次はいつどこでやるの?」
今回同窓会本部は近年大きく成長した学園の様子をお伝えし、その地域のオビリンナーが共に集い、情報交換する場を提供することを目的として開催しました。



来年は東北6県の北部地区での開催を検討していきたいと思っています。

同窓会は、安三先生の誕生日のお祝いとして始まつたり・ユニオンを、遠く離れた地域でのブロック同窓会を開催することによって、皆様の思い出の学園が間近に感じられる場の提供を企画し実行していければと思っています。

桜美林学園東北ブロック同窓会に出席して

田邊 光男(66高校)

私の、桜美林学園を卒業して、早47年もの月日が過ぎ、今まであまり思い出さなかつた学生生活に思いを馳せました。これまで数多くあつたと思われる行事に一度も出席できず、過ぎし日の学園生活の思い出からは遠ざかつていました。(住所変更など学園に連絡したか定かではないが……)東北ブロック同窓会は二千名もいるとのことには、正直大変驚き長い歴史と伝統を感じました。そして、どのような方達に会えるのかドキドキでした。当日は、果たしてどの位の出席者がいるのか不安と期待が入り混じる複雑な心境でした。(きつとわかる人はいないだろうなあ……)でも会場を見渡すと、同窓生と本部合わせて30名もいらして驚きました。副会長長谷川哲雄氏の司会にて進行し、ビデオ上

映で現在の学園の様子を見せてもらいました。自分の在席中とは全く変わってしまい、驚きで言葉もありませんでした。時の流れをしっかりとかみしめたひと時でもあり、今も尚、健在であるわが母校を誇りにも思いました。そして、いつか折を見て訪れてみたいと思っています。

野球漬けだった高校時代。共に過ごした仲間達を次々に思い出し、懐かしさに浸ったひと時でした。(ありがたい……)待ちに待った乾杯ビールで喉を潤し、懇談会のひと時となりました。40数年ぶりで会った方もいれば、何らかの関係で繋がっている方もいました。懐かしく、楽しいひと時でした。

自己紹介では、みんな明るく当時の思い出や、今後の希望等を語っていました。桜美林学園同窓生達に幸多かれと祈ります。またいつか皆さんにお会いできる事を楽しみにしています。

「北京における清水安三先生の足跡」講演会に出席して

佐藤 誠一郎(70高校)

8月24日(土)午後4時より大学崇貞館6階にて、清水安三先生顕彰会主催の研修・交流会が開催されました。この「顕彰会」は12月7日、8日(2回公演)に予定されている滋賀県高島市の市民劇の

「木槿の花の咲く頃―清水安三物語」公演の決定をきっかけに組織された高島市民の会です。この度の研修・交流会は実行委員の関係者やキャストなど13名が来園し、安三・郁子先生の業績を見学しながら、理解を深めるために行われました。当日高島市より会員の方々は午前8時に新旭公民館マイクロスバスにて出発し、午後3時過ぎに学園に到着されました。第一部として、安三先生の次男で名誉

学園長でもあります清水畏三先生より「私論―清水安三先生の北京に於ける足跡」の講演会が開かれました。崇貞学園設立への思い、又統治下における、北京の町の様子、中国の人々の考えかた、そして、排日運動の実態を日本のマスコミに寄稿。又、アメリカへの2年間の留学。そして終戦のために帰国までのお話をいただきました。第二部は交流会として参加者全員56名が一言ずつ安三先生の思い出を語り合いましたが、予定時間をあつと言う間に過ぎてしまいました。その後、市民劇の出演者を代表して安三先生役の前高島市長の海東英和さんは、「本日の参加者の話を伺い、安三先生の教育にかける思いの原点が理解でき、自分なりに表現できるか、責任を感じている」と語られました。今、日中、日韓関係は非常に緊張

を開き、愛を持って行った教育を、中国、朝鮮の子供達へ行ったこの事こそがまさに、民間外交であり、今強く求められていることだと思えます。今後も、安三先生の郷里の高島市の皆様との交流を通して、安三先生の思い出を末永く伝えて行きたいと思いました。



藤井 恵子 60中学
(神奈川県横浜市)

同窓会だより毎回楽しみに拝見しております。常々、桜美林時代にしっかりと聖書を学んでおけばよかったと思っております。現在コーラスに参加しBachなど宗教音楽を学んでおりますが、定期演奏会に向け、春には桜美林伊豆高原クラブでの合宿があり、とても楽しみにしております。

佐藤千絵 98短英
(東京都町田市)

卒業して20年以上たちましたが娘と息子が幼稚園にお世話になる事で学園にも足を運ぶ事が多くある日々です。娘は卒園してもう二年になります。娘は卒園して先づ生方の教え、イエス様にお守りいただいている感謝の気持ち、今も忘れずすくすくと成長していま

す。一方、息子は今年年中になり、私が困っていると「お母さん、大丈夫だよ。僕がいるから。イエス様が見てくれるから」と言ってくれたり、小さな手を合わせてお祈りする姿が年少の時より、立派になり、先生方に本当に感謝してあります。今日も幼稚園には子供たちの笑顔と絶え間ない先生方の愛が溢れています。

松本 國男 70高校
(北海道亀田郡)

15歳頃苫小牧から函館に転校し、十字街の書店で購入した、参考書に「桜美林」が掲載されていました。9月頃に今度は東京の目黒に再転校と目まぐるしい日々でした。昨秋、北海道に戻りながら前から突刺す風は身体の中を一回転して、後ろに抜けていくような感じでした。振り返るとほんの少しの出会いが桜美林との一生の繋がりになったのだと思っております。全

国の桜美林のみなさん、少し市電で十字街で降り、南部坂からロープウェイで函館へ。思い切り星空に夜空に身を投げ入れて下さい。きつと癒してくれます。そして帰りは教会が立ち並ぶ大三坂から港を見ながら……。もし、次回があれば、また違う場所を紹介できればと思っております。

村田 佳壽子 95院国
(東京都中野区)

今年2月3月、中国からの有害物質PM2.5対策出、フジテレビの番組「知りたがり」と「とくダネ!」に出演しました。この問題は、長期にわたり、私達を悩ませそうです。これからも環境ジャーナリストとして頑張ります。大学院同期の友達やお世話になった先生方、そしてすべてのオペリンナーの誇りになれるよう、神様にいのりながら……

中田 吉紀 81大中

2013年6月に久しぶりに「桜美林大学・短期大学社会福祉研究会」のOB会が開催されます。当時の写真を見直し旧友と連絡を取り合つて再会を楽しみにしております。私は「桜美林社会福祉研究会」での活動を通して、障害のある人との係わりやボランティアが体験でき、それが現在の肢体不自由教育に携わる門になりました。体調を崩して休職しておりますが、回復し、また、復職できる喜びを実感しております。桜美林で神が与えてくれた出会いを大切にして今後も生きていきます。

新井 早詠子 86大中
(長野県松本市)

同窓会だよりを毎回ありがとございます。信州(松本)の桜、

今年はずいぶん間眺めることができました。咲くのを待ちわびて、満開の姿はその香りと共に美しい。約30年前にもなる桜美林での学生時代を、この桜の咲く頃になると思ひ出します。卒業して信州に戻り、教職に就き、結婚、主婦に。今月号の安三先生の、和風透々満屋(結婚する女性オペリンナーはその家に和やかな風をいっぱい満たして欲しい)というお言葉が、とても心に当たった。家族を守る主婦として勇気をいただきました。感謝です。そして、オペリンナーとして日々向上心を忘れないようにしたいと思っております。

井上 真弓 82短英
(埼玉県熊谷市)

いつも懐かしく同窓会だよりを拝読しております。長らく地元を離れていますが、初めてお知らせしたいことがありペンを取りました。私はアロマセラピー、マナー&コミュニケーション講師、そしてセミナー会社を創業しましたが、この度初の商業出版が5月の予定です。「Aroma Formen」自由国民社よりP・Nいのうえ真弓として出ます。現在も各地で特に人と人とのコミュニケーションの大切さを講和しています。温もりのある愛のある人と人とのつながりを広く伝えていきたいと思ひ仕事をしていきます。また学園を訪れたいと思っております。

桜美林高校男子バレーボール部
杉山監督就任20周年記念OB会

桜美林高校男子バレーボール部
OB会【桜美会】

会長 高村将名(94高校)
2013年3月10日(日)に桜美林高校男子バレー部のOB会が開催されました。

バレー部の恩師、杉山泰彦先生が今年で教員20周年と合わせて、バレー部監督20周年を迎えられ、歴代のOBで、その功績を称え、お祝いをしようとの企画でした。

杉山先生の教え子だけではなく、前監督の近藤伝二先生を始め、歴代のOBの先輩方にも多数のご参加を頂きました。

当日は、午後からアリーナに集合しての、現役世代を交えたバレーボール懇親会。

受付を済ませた参加者は、個々にウォーミングアップを始めていきましたが、懇親会が開始される前に、既にOB同士の交流が始まっており、早くからアリーナは笑いの渦が起こっておりまして。

また、アリーナには杉山監督の20年の歳月を支えて頂いた母校のOGでもあられる愛夫人にもお越しいただき、歴代のOBとの交流をして頂く事ができました。

バレーボール懇親会には27名が集まり、世代を超えた懇親のため、事前に抽選で決めたチームに分か

れての試合を行いました。

初対面の人や、現役時代は雲の上の存在であった先輩、親子ほどの歳の差のある人、そんなバラバラのチーム構成にも関わらず、一つのボールを共に追いかけて、夢中でバレーをしている内に打ち解け、助け合い、励まし合い、そして笑い合い……楽しい時間を過ごすことが出来ました。

後半には、若き日に共にコートに立った世代ごとにチームを組み、若手世代は本気で現役世代にも挑戦しました。

夕方になり、場所を淵野辺駅前のエクセルシオールに移しての祝賀会・OB懇親会を開催いたしました。

祝賀会・OB懇親会には、32名のご参加を頂きました。

前監督の近藤伝二先生にお祝いの言葉を頂戴し、世代ごとに当時の楽しいエピソードを披露し、終始笑いに包まれた楽しい時間を共に



有する事ができました。

今回のOB懇親会を通じ、世代は違えども母校バレー部への想いや、仲間との大切な思い出は共通のものであり、その母校バレー部を20年に渡り支えて下さっている杉山先生には改めて、深い感謝と敬意を表したいと思います。

母校OB会【桜美会】では、今後もたくさんの方々と協力し合い、母校バレー部のサポートをより強固なものにしたいと考えております。

今回、残念ながらご出席できなかった皆様も、次回のイベントには是非ともご参加頂けるようお願い申し上げます。

最後になりますが、杉山先生、教員ならびにバレー部監督20周年、おめでとうございます。

そして、ありがとうございます。今後とも、母校バレー部への熱いご指導をよろしくお願いいたします。

桜美林大学 アメリカン

フットボール部 還暦の祝い

7期OB 吉野幸一(78大商)

1期生、11名のうち3名が鬼籍に入り初代監督の小橋さんより「元気なうちにみんなに会いたい」との要請を受け、1期から7期のOBが集まり、2013年5月20日、町田の徳樹庵で還暦の祝いを



開催しました。

苦楽を共にした仲間との再会は30年以上の時の流れを忘れ、いつしか桜美林のフットボール選手に戻ってました。

「今日集まったメンバーが、現役と試合をしたら、勝てるかな」絶対にあげない話ですが、そんな話が出る程大いに盛り上がる会になりました。

「俺より先に死ぬなよ。俺が寂しいからな。」との小橋さんの挨拶が最後にあり、来年の再会を約束し散会となりました。

平成25年度

総会を終えて思う

原 春男(66高校)

2013年、桜美林高校ラグビー部OBは何となく気持ち高昂らせている。

今までの部員不足による他校との混成チームから、ここに至り

名、桜美林高校ラグビーチームとして闘えることになった。それがOBの心に火をつけた。

6月9日、第3回OB会総会開催。恒例のOBによる現役指導練習が始まる。40代OBを中心に、50、60代、そして昨年度卒業生。合わせて13名、活気のある練習となる。OBの怒声と現役の激しい息遣いが、埃舞うグラウンドに交錯する。

2時総会開始。4時懇親会。25年度総会もどこおりなく終わり、そして秋から始まる現役達の全国大会東京都予選、OB達の祭典ー現役との交流会交流戦とラストステージが待っている。そして、今年度卒業する部員達が、素晴らしいカーテンコールを受けられるよう私達は見守っていく。OBはつづやいている……ここで出逢ったラグビーの原点を、そうやすやす無くすわけにはいかな



中高文化祭

行事企画委員会

木下 浩司 (89大英)



9月21日、昨年とは打って変わって素晴らしい陽気のもと、本年も同窓会として中高文化祭に参加。桜美林グッズの販売を行いました。朝9時の開始から、多くの親御さん達が来校され、各クラスごとの行事を楽しんでいました。交代で休憩をした時間の中で、茶道部の生徒さんにお茶を立てていただいたり、書道部の部員達の力強い作品や、美術部の部員達の個性的な似顔絵や絵画作品を拝見させていただきました。

バザー会場では、高校野球部の保護者の方々が、桜美林カラーの手作りストラップを販売したり、親子が一体感を持って、開催されていた事が印象に残りました。

本年は一日限りの参加でしたが、ご来校された方々に、楽しんで

でいただけた事に感謝し、来年以降も同窓会としてお手伝いをさせていただきますと思います。

売上金の一二、五四〇円全額を「中高講堂建設資金」に寄付いたしました。

大学祭

11月2日、3日「逢彩」というテーマのもと第47回桜美林大学大学祭が開催されました。

今にも雨が落ちてきそうな2日の朝、明々館の外にはご近所と思しき皆さんの長蛇の列。野菜即売会の開始を待つておられる方々でした。キャンパス内には学生のご家族以外にも子供連れのご夫婦など、秋の一日、普段は足を踏み入れることのないキャンパスを楽しんでおられるように思いました。

例年と「ちよつと違う」大学祭について実行委員のメンバーにお話を伺いました。昨年と大きく変わったのはいわゆるパンフレットの製作をやめ、情報をMAPとE.V.E.N.Tの2枚のシートにまとめたこと。大きいパンフレットを持ち歩くのは大変なのでコンパクトで見やすい方法を考えてこういう形になったとのこと。皆さんの催し物をくまなく見ていた

だきたいとの思いから地図を6つのエリアに分けたチケットラリーも企画。協賛いただいた企業のお名前は一覧表にしてE.V.E.N.Tシートに掲載するなど工夫をしました。また今年初めての試みとして淵野辺駅前でコンサートを行い

ました。目的は学生の発表の場を多く設けたいということと、大学祭への呼び水としての情報発信を行っていききたいという思いから。警察との渉外など、なれない諸手続きも大変だったようですが、新しい試みにチャレンジする後輩たちの姿勢は頼もしくうれしく感じました。

3日は穏やかな日和となり、安三先生と郁子先生のパネルが見守る中、同窓会は恒例のお茶のサービスをを行いました。前日全国支部長会にご出席くださった支部長さんも朝から学内を回ってくださり、現役生の様子などについて感想を聞かせてくださいました。

大学祭実行委員の皆さんには、ユニオンでお手伝い戴いたりいろいろお世話になりました。この経験が社会に出てきつと役に立つと思います。

3日は穏やかな日和となり、安三先生と郁子先生のパネルが見守る中、同窓会は恒例のお茶のサービスをを行いました。前日全国支部長会にご出席くださった支部長さんも朝から学内を回ってくださり、現役生の様子などについて感想を聞かせてくださいました。

大学祭実行委員の皆さんには、ユニオンでお手伝い戴いたりいろいろお世話になりました。この経験が社会に出てきつと役に立つと思います。



福島のどーな販売

けやき広場の野外ステージ



2013 ホームカミングデー



2013年11月3日、恒例の大学園祭において、桜美林を巣立っていかれた皆様と退任された先生方をお迎えし、数えて4回目の「ホームカミングデー」が開催されました。会に先立ち、土橋チャレンによるお祈りが行われ、その後、三谷学長より、これからの大学運営の厳しさ、その中で桜美林大学が取り組んでいる「グローバル化に対応出来る人材の育成」「地域社会への取組み」などの近況報告をお話いただきました。また、本年4月より設立された「スポーツ推進センター」について宮崎センター長より説明がありました。スポーツ特別強化へ取り組み、創立100周年に向けて来年4月に「駅伝部」が発足します。監督には、箱根駅伝で活躍した真也加ステファンさんを迎え、箱根駅伝

出場を目指すということ。卒業生としていつの日か箱根路で母校の旗を振って応援したいと期待しています。メインイベントのトークショーでは、1993年卒業生の佐藤源太さん、柴田幹雄さんの二人が登場。桜美林卒業生としては数少ない、メディア業界で活躍しているお二人。佐藤さんはテレビ制作会社のテレビドラマ監督として、視聴率を獲得する為の難しさや現場での役者さんたちとのコミュニケーションの図り方、柴田さんは出版社でのコンテンツビジネス責任者として、国際的な取引においての文化・法律の違いによる難しさをお話頂きました。在学中はあまり接点のなかった二人が、共通の友人を通じて接点を持ち、今後は合同で事業の立上げ等も視野に入れていくとの事です。最後に在校生に向けてお二人から、「現在の恵まれた環境の中のITスキルの向上」「人的コミュニケーション能力を磨く事」桜美林の特徴である「開かれた環境」「学部間の壁が低く、交流しやすい」「外国語教育に恵まれた環境」という利点を活かし、将来様々な業界で活躍できる後輩たちの成功を祈っているとの言葉で、充実した2時間半を締め切りました。





凡て祈りて願う事は、すでに得たりと
信ぜよ。さらば得べし。

マルコ 11.24

安三先生語録



一日陸軍少尉 (1917年大正6年
5月)
お母さんが「この村始まって以来
の少尉殿じゃぞ」と近所に自慢し
た清水安三先生流親孝行の姿

清水安三先生講演 インターナショナル キヤラクター その三

桜美林大学祭

私は二七才の時結婚したが、その年から毎年クリスマスには牛肉のすきやきを近所の外国人を一人だけ呼んで一緒に食べることにしとった。何故すきやきかていうと、すきやきは外国人に向いとる。インターナショナルフードじゃ。それに中国では日本と違って牛肉が安い。同志社で講師をしとった時には、五条の大橋で熊の肝を売とったアイヌのおじさんと呼んで、そ

の晩すきやきを食って泊めてあげたこともある。体中毛だらけで、背中流すのが大変じゃったと、死んだ家内(美穂夫人)が言うとった。これがだんだんだんだん色んな所に影響を及ぼすようになった。朝鮮人の生命を救うたのもその一つです。これが私の原点です。

私は今でもアメリカ人が来ると、一番先にテレビ塔(東京タワー)へ連れて行く。そこで東京がだいたい頭の中に入る。それからあちこちその人に応じて連れて行く。

私が北京におる時、こう問うた人がいました。「どうしてあんたは胡適と友達になったのか」胡適と言えは一番最後の米国の大使になった人で、支那の文学革命をやった人です。その胡適さんを知るのに紹介者があるわけじゃない。けども胡適と知り合いになったのは、日本から服部という東大の支那哲学の先生が来た時です。元来は西洋哲学の先生で、北京大学の先生を五年位していた。星川(清孝)先生やらの先生です。その服部さんが来た時に胡適が来た。それで非常に親しくなつた。

それからまた、エロシエンコという者が日本から逃れて来た。ロシア人の盲目の作家エロシエンコ。エスペラントの。新宿の中村屋のロビーにエロシエンコの額が上がつておる。中村屋の(相馬)黒光さんがやつたんです。私の所から人力車で一時間位かかる。けど、電話がかかって来たから人力車に乗って行った。エロシエンコが口(漢字の口)で言うのを私が筆記するんです。そのエロシエンコの、私が筆記した文章、童話、と言っても大人の読む童話ですね。その原稿で生活しとった。

エロシエンコの隣の家に住んでおつたのが魯迅です。その頃の魯迅は支那の新聞で千字書いても五円か一〇円しかもらえなかった。「魯迅さん、あんた日本の雑誌社に原稿送りましようよ」私はそう勧めたことがある。あれくらい日本語が上手でも日本語で書くという手間がかかる。ですから、魯迅の日記帳の中には、日本人の中で私の名前が一番たくさん出ておる。一三回出て来る。「清水が僕を何処に連れて行つた」とか。それで魯迅とも交わりが出来た。

また、毛沢東の先生の李大剣。李大剣は中国共産党の元祖です。李大剣と私とどうして交際が始まったかという「森戸辰男さんの『クロボトキンの社会思想の研究』の載つた、帝国文学という雑誌を取り寄せたい」と言うとするそうな、ということ魯迅の弟の周作人から聞いて、私に取り寄せてそれを見せた。そこから李大剣との交際が始まったんです。

さて、毛沢東とどこから交際が始まったかという、日本から佐野学という人が逃げて来た縁です。「佐野学全集」というのが図書館にあります。そこに「故清水安三氏にお世話になった」と書いてある。わしはまだ死んだらんし、彼の方が先に死んだんですが、死んだ者にされると長生きするそうだから、わしは長生きするだろうとみんな言いよつた。和歌山県で共産党が総決(一網打尽)にあげられた時に、佐野学は逃げて、至る所で清水安三と名乗って、わしの兄やと騙って、北京におる弟の所へ行くんじやと言うて、佐野学はやって来た。私より一つ年下ですが、北京に着く

と駅から幌馬車に乗ってやって来た。「清水さん、奥さんをあちらの部屋へ」というので、わしの家内(美穂夫人)を隣の部屋へやって、それから日本から逃げて来た話をしました。わしとは一面識もない人ですよ。けれども私の所へ行ったならば、警察に訴え出たりせんじやろうと思つてやって来た。「あ、突き出しませんよ」と。佐野学は朝めしを食つて、乗って来た幌馬車に乗って、北京中をその日見物さした。

ところが、どうしてか佐野学を中江丑吉君の家に預けておいたんですが、その近くに警視庁の内藤さんという事務官が毎晩碁を打ちに遊びに来る。知つて知らんか。それで佐野学は小便にも行けん。これはかなわん、どうしようかというので李大剣の所へ相談に行つた。そしたら「ソ連に行つたらどうか」と。「ソ連に行けるならありがたい」と。それで李大剣が「私の部下を一人付けてやろう」と。その時李大剣は北京大学図書館の館長でしたが、その部下が毛沢東じゃつた。毛沢東はぬくぬくの服を着て呼びに来てくれた。私は天津まで一緒に行つて、米国の小さい軍艦に乗せて、彼はウラジオストクに行つたんです。それ以来、凡らく毛沢東は日本の浅沼(稲次郎)さんや、社会党の首脳が行つて、そういう日本の偉い政治家に会う前に、毛沢東を知つた日本人は私やつたわけです。

どうしてそういう人に近づけるかという、皆、案内したり、筆記してあげたり、文章を書いてあげたり、そうして私は友情を暖めてきました。そういうことを長いことしとると、誰が益するか、凡らく毛沢東とあれだけ近づいて交際したんだから、日

本人というものの第一印象をわしから得たんじゃないと思います。

米国人でも皆そういうふうにしてきました。そうすると決して損になることはない。日本のためにもなるし、他所の国のためにもなる。

私は五年か六年前に、一九六八年六月、大野（一男元学長）さんがアメリカのオペリン大学におる時に、わしを呼び出して博士（名誉）号をくれた。その博士号をくれる時に私に赤いフードをかけて、総長がこう言いましたよ。「一九二〇年代、私は二六年に卒業してませんが、一九二〇年代にわがオーバリン・カレッジを卒業した者で、最も社会に、国際的に貢献したヤスゾー・シミズ」と言うてくれた。だから何もならんと思うておったのが、私の一生で付き合ってきた人は、ただ食わしただけやけども、長い間にそういう種がどっかに流れて行って芽を吹く。

統一教会の小山さんという人がわしとこに毎月「思想」という新聞を送って来る。お嬢さんがうちの学校に来ておる。その人が今度アメリカに行って手紙をくれた。その手紙の中に「日本民族がぐるりの人々に、また神様に愛されるにはどうすればいいか、真剣に考えさせられました。私の課題です。」とあった。その方法は私がしたように、近所の人を誰かれとかまわずお世話する。そうすると思わぬ所に大きな影響が出る。それが三年位で死ぬんやったら効果は解らんけども、八〇年も生きておりますと、ロシア人に親切にしたことも、日本のためにもロシアのためにも大いになったでしょう。中国のためにも、韓国のためにも。

うちに大野（俊雄）先生という体操の教師がおられた。あの先生は新義州の中国側の方の小学校の体操の先生をしたった。戦争が終つたら、校長さんと体操の先生だけ運動場に呼ばれた。そして朝鮮語でバイバイと言うたら、その朝鮮の娘たちは皆石を拾うて校長と体操の先生に投げて怪我をさせた。こういう話はよく聞かされた。朝鮮に行つて教育に従事した人か、終戦の日に、運動場へ引つ張り出されて石を投げられたという話はあちこちにある。

私が金浦飛行場に行った時、女の人になん前から後ろから抱きつかれたのは始めてじゃった。「先生！」言うてわしの所へ。そしてこの指輪もこれも皆その時貰うた。あんたの方に見せびらかすわ。

桜美林学園の建学の精神は「国際的人格を作る」ということにある。私は自らその範を示す。私は外交官でもないし何でもないけども、只一個の人間に過ぎんけども、何とかして隣近所における外国人に親切にしようとしとただじゃけども一九二〇年代において最も国際的に貢献した人というて博士（名誉）号をくれた。学問があるというので博士号をくれたんではないけども、私はもう報われたと思うてる。

皆さん方も色々人生を生きて行くじやろうと思うけども、どうぞひとつインタビューナル、キャラクターというところで行って下さい。私はもう少し英語が出来たらええなあと思うんですが、私は音痴じゃ。音楽も解らん。音痴の人間は語学が上手にならん。文法は出来るやろうけども発音が難しい。そういう才能が無いにも拘らず、これだけやってこれた。まさかあの時、佐野

学さんを連れて北京の城から小僧っこみたいなぬくぬくの羅紗の服着て一緒に行つたのが毛沢東になるとは夢にも思わなんだ。まことにありがとうございました。どうも皆さん、よく聞いてくださいました。（一九七四年 昭和四十九年二月九日）

感謝の誌代

昭和三十八年度桜美林短期大学
家政科古希記念同期会参加者

- 大谷千江子 30,000円
- 森崎 金治 17,286円
- 江渡 恵 10,000円
- 長谷川照幸
- 佐藤 節子
- 荒木喜久子
- 藤森 京子
- 匿名
- 渡辺 郁子
- 5,000円
- 牧野 牧

特別会費御協力について

同窓会規約により、卒業後十年経つた同窓生に一口五千円の特別会費のご協力をお願いしております。それにともない「同窓会だより」では納入頂いた方の氏名を掲載しております。特別会費は同窓会運営の大切な財源になっております。未納の方、これから該当される方、皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。

特別会費御協力者一覧

- 斎木 暢子 92大中 武藤 律子 81短家
- 多田 陽子 01高校 佐藤 和美 92大商

結婚しました

掲載ご希望の方は、その旨お知らせください。（）内は新姓

訃報

- 馬場 博文 82大経 三浦 清子 92大國
- 高橋 エリ 92大國 片山絵梨奈 02高校
- 前田 佳代 02大B 石田 弘 61高校
- 長崎 裕子 82短家 関根 恵子 91大英
- 高橋 順子 02大中 前田 暁子 90大中
- 2013年4月27日に行われた喜寿・古希・還暦祝礼拝の献金8万1132円は学園に寄付しました。
- 小川 留三先生 13・06
- 鈴木 喜久二先生 13・07
- 勝見 まさ先生 12・03
- 新井 富子 67短家
- 大屋 律子（橋口） 56短家
- 山本 一子（小泉） 72大英 12・10
- 三橋 由紀子 76短家
- 蔵野 廣満 52短英 12・
- 宮崎 寧 84大英 12・02
- 高橋 常男 80大商 12・
- 高橋 直子（菅原） 79高校 12・
- 小野寺 裕子（小町） 63短英 12・08
- 金山 旭 00高校 07・12
- 林 悦子 69短英 12・12
- 飯田 絹子（篠崎） 68短家 12・03
- 大美 典子 74短英 10・
- 植田 祐造 77大商
- 高梨 晃治 83大商 13・03
- 坂下 明孝 83大商 13・04
- 吉府 徳子（小島） 59短家 11・04
- 野島 衛 82大経 10・12
- 田原紀美子（山崎） 62短家 13・09

伊豆高原クラブ便り

ホームページ全面リニューアル
二〇一三年の春より、伊豆高原クラブのホームページは、全面的にリニューアルし、情報量が格段に増えました。客室・会議室など施設の詳しい案内とご利用方法写真入りのアクセスMAP、Q&Aなど。周辺観光のページの他に「別利用例」の中には、アート・自然・桜・海・温泉など、より伊豆高原を楽しんでいただくための情報を載せていますので、ご参考になさってください。

お食事のメニューも一新し、お野菜たっぷりヘルシーな献立と美肌前菜・血液サラサラ前菜など健康も考えたお料理をご提案しています。秋は、免疫力アップ前菜が登場します。

別注料理に「アジのたたき」が加わりました。採れたての美味しさを御楽しみください。



▲別注料理・アジのたたき



▲カルパッチョ、蒸し野菜、シラスのかき揚げ他

温泉でゆったり一泊同窓会

桜美林の卒業生さまや、同好会のお仲間など、グループでご利用いただく事も多くなりました。卒業一年目の若い方々のプチ同期会から、平日にゆつたりとご利用いただける年代の方々の同窓会まで、それぞれの形でご利用いただいています。

人数により、全館貸切にてもご利用いただけます(貸切料無料)また、団体様のご予約は、半年前より承っておりますので、お気軽にご相談ください。

田舎の秋体験ミニツアー

伊豆大見の里「季多楽」で天城の湧水・国産大豆・駿河湾のにがりなど最高の材料を使っての「手作り豆腐体験」と直売農産物や木工芸品などを楽しむ、ミニツアーを企画いたしました。チェックイン前、もしくはチェックアウト後の時間帯にクラブからご送迎いたします。

10月〜12月の毎週・金・土・日1日限定7名様まで。片道30分、体験時間は、約1時間ほどです。ツアー料金1500円/体験費込
●ご参加希望の方は、事前にクラブフロントまでお申し込み下さい。



桜美林同窓会限定プラン

【お値段そのまま特典つき】

- 一、ご案内通知の作成・郵送
- 二、出欠の受付・名簿の作成
- 三、伊豆高原駅から無料送迎
- 四、ご夕食に乾杯ビール付き
- 五、記念写真プレゼント

(10名様以上、70名様まで)

※70名様以上の場合立食形式となります。宿泊可能人数103名
通常料金の中に右記のサービスが含まれるお得なプランです。

伊豆高原クラブ宿泊料金

○大人(中学生以上)

1泊2食: 8000円

朝食のみ: 6500円

素泊り: 5500円

(消費税込・別途入湯税150円)

※桜美林学園の学生・生徒には

1泊につき3000円の補助

が出ます。(ゼミ以外も可)

○保護者同伴の幼児・小学生:

お子様プレートのお食事つき

1泊2食: 2000円(消費税

税込。小学生以上のお子様は

別途入湯税150円が必要です)

○ペット同伴料金、一人部屋追加

料金など一部改定になりました。

○価格等は平成二十五年十月現在

のもので。予告無く変更する場

合もありますので、詳しくは現地

フロントまでお問合せください。

TEL・0557-15114846

E-mail club@obirin.ac.jp

http://www.obirin.jp/izucclub

編集後記

▼モンゴルの講演に始まったリ・ユニオン報告号、16頁です。モンゴルからの留学生も続々、同窓会モンゴル支部が出来るのもそう遠くないかな。

▼中学・高校の校長が変わりました。新しい学校の在り方が注目されます。

▼元中学・高校の校長だった小川留三先生が天に召されました。これで、学園草創期、創立者清水安三・郁子両先生を支えられた先生方は殆ど天上の人になられました。ヤスさん、イクさん、ハシさん、ベンさん、ムナさん、タイさん、カワカミさん、チネンさん、トメさん……天上の職員会議で何を話されているのかな。

▼毛沢東に最初に会った日本人は清水安三先生だったとは。中国の現代史を担う要人々々を日本に紹介した清水安三先生、歴史の証人としての重さを感じます。(小林 茂 51高)

事務局より

12月21日(土)より来年1月7日(火)迄お休みいたします。

お詫びと訂正

189号に誤りがありました。P1 横文三行目

誤: 在日本モンゴル総領事正: 在相模原モンゴル名誉領事

P8 Q 学生時代の印象に残る授業をお聞かせください
コーナー
誤: 佐藤先生の「資本論」
正: 齋藤先生の「資本論」

元旦礼拝

2014年1月1日(水)
午前11時〜12時
桜美林教会(復活の丘)

2013 桜美林クリスマス行事

クリスマス・ハンドベルCherry'sコンサート
12月7日(土) 15時00分〜16時00分 於 荊冠堂

オビリン・クリスマス
「キャンドルライトサーヴィス&クリスマスコンサート」
12月21日(土) 17時00分〜19時30分 於 荊冠堂

クリスマススイブ礼拝
「キャンドルライトサーヴィス&愛餐会」
12月24日(火) 18時30分〜20時30分 於 桜美林教会(復活の丘)